KAIHOU

会報、快報、回報、ニュース

東京工芸大学同窓会　関西支部　会報

平成23年度号　平成23年11月発行

東京工芸大学同窓会関西支部

東京工芸大学同窓会 関西支部 会報 目次 KAIHOU

ごあいさつ　支部長　駕田　毅 …… 1

ごあいさつ　同窓会本部常務理事　花川　正英 …… 2

平成 23 年　支部総会 …… 4

講演　工学部長、大学院工学研究科長　久米　祐一郎　教授 …… 8

平成 23 年　懇親会 …… 17

平成 22 年度会計報告・平成 23 年度予算案 …… 20

議案審議 …… 20

平成 23 年総会出席者 …… 21

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」 …… 22

会費納入のお願い …… 26

役員氏名一覧 …… 27

関西支部事務局・各地区連絡先 …… 28

平成 23 年　支部総会　ご　挨　拶　42期　駕田　毅



関西支部支部長　42 期 駕 田　毅

皆さんこんにちは、今回も皆様とお会いでき総会を持てます事に感謝申し上げます。

3月11日に起りました、東日本大震災で私どもの営業所が仙台にありまして、お得意様の45件もの写真館が被災しております。

2館が死亡事故、17館が全壊、9館が半壊、12館が浸水、また福島原発で被災の写真館が5館と大変な被害を我々実感しております。

私どもの営業所の被害は少なかったのですが、実家の両親が亡くなるなどありましたが、社員は全員無事でありました。

大震災により未曾有の災害に遭われた方々に、心よりお見舞い申し上げます。この様な状況の中で、総会を開催できる事を本当にしあわせに思っております。

本日は、久米工学部長様と、さらに同窓会の方からも急遽、花川先生に駆けつけて戴きました。本当にお忙しい中を出席いただき、ありがとうございました。

これからも皆様と一年に一度はお会いしたいと念願し、ごあいさつに代えさせて戴きます。ありがとうございました。

平成 23 年　支部総会

ご　挨　拶

44 期　花川　正英



同窓会常務理事　44 期 花川　正英

同窓会本部を担当しております、花川でございます。卒業期は 44 期になります。一般的な企業で申し上げますと、定年まで 2 年半で任期満了になります。

先程より支部長ほか、東日本大震災の事をお話しになられているので、お話してどうかと思いますが、芸術学部の卒業生の方が 19,000 人弱おられます。

住所不明になってしまった方が 1 名おられます。なぜかと申しますと、福島県の浜通りにお住まいの方なのですが、みなさんのお手元に到着している「ひろば」が同窓会本部に戻って参りまして、今回の東日本大震災に関しては、戻ったものは附箋が付いて戻ってくる為にわかりました。

避難所等に引っ越されて、郵便局に残っているものもあるかも知れませんが、そこまで掌握していないのが現状でございます。なかなか本部も 19,000 人弱の卒業生に対して発送すると、150 ～ 200 通近く戻ってきます。これは必ず若者だけでなく、ご年配の方々も含んでおります。ただ 1 年に 1 回、名簿を作って郵便物を常に出せる状態にしようと言う事で、住所の確認をさせて戴いております。そこで復活するのは、140 ～ 150 通程であります。そこには、諸先輩方のご協力を戴かないとできない事であります。

あと、芸術学部、工学部で実家が被災されたというのは 25 名で、1 年間同窓会費を免除という事で理事会の承認を得て、対応させて戴いております。

中野キャンパスのイベントでホームカミングデーが 9 月 17 日土曜日にあり、詳細は「ひろば」に掲載されております。

最後に 19,000 名弱に加えまして、国内ではなく韓国に支部ができまして現在 34 支部になりました。関西支部、新潟支部、東海支部、この 3 つの支部が工学部、芸術学部ともに一緒に活躍され、総会などを開催されている様でございます。

我々の同窓会本部の方では、19,000 名弱の DATA を都道府県別で持っておりますので、どこそこの最新 DATA が必要であるならば、個人情報であっても支部長様経由でお出しする事は、可能です。要望があればまた、お問い合わせ戴ければと思います。ただ、全然わからない所から何かやりたいからと言われても、個人情報そのものでございますので、この場合は出さないのですが、支部長様の方から目的がはっきりしていると言う事であれば、お出しする事は可能です。お手伝いできればと思っております。

どうも本日は、おめでとうございます。

平成 23 年　支 部 総 会

東京工芸大学同窓会関西支部　総　会　平成 23 年 6 月　　於　アークホテル



平成23年　支部総会

平成23年6月11日（土）、関西支部恒例の総会を大阪長堀橋にあります「アークホテル」にて開催し近畿各地から同窓生が参加しました。

大学より、東京工芸大学工学部長、大学院工学研究科長 久米 祐一郎 教授のご出席を頂きまた、同窓会本部より東京工芸大学同窓会 常務理事 花川 正英 准教授の出席も頂く事ができました。

38期滝口氏の司会進行で、まず今年亡くなられました、本多 健一 元学長、20期関 秀峰氏、30期土方　英俊氏、36期米山　壮之助氏そして東日本大震災犠牲者の方々に黙祷を捧げ、42期駕田支部長の挨拶に始まり各役員、各地区の活動報告、会計報告、予算案などが審議されました。

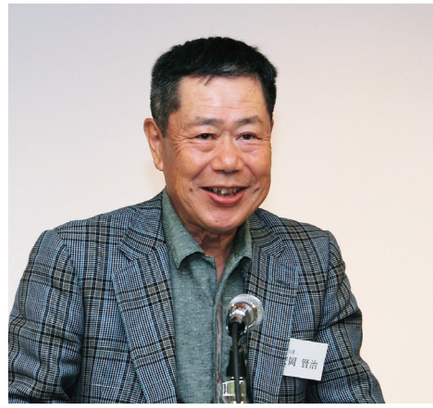
来賓講演にて、「大学の理念に基づく　工・芸連携教育研究の取組み」と題し、久米　祐一郎教授よりお話を頂きました。

記念撮影の後、懇親会に移り工-21期原氏の司会、24期山本氏の乾杯に始まり、時間の経つのも忘れ現役に戻ったように話も弾み大いに盛り上がり、34期西本氏の中締めで来年の再会を約して散会となりました。




支部長　42期　駕田　毅　氏

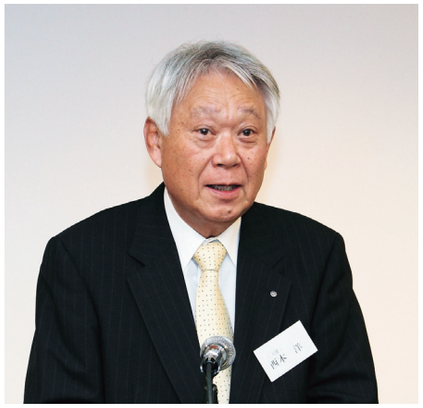

司　会　38期　滝口　雅之　氏


京都地区　39期　安岡　賢治　氏

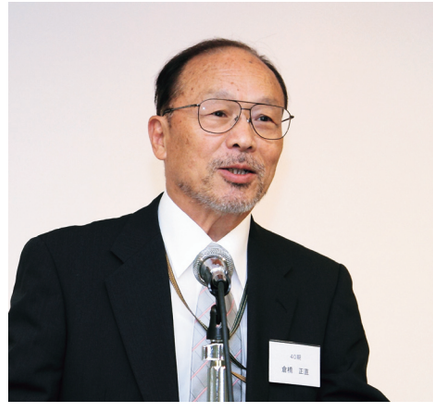

滋賀地区　47期　大西　繁　氏


大阪地区　39期　山本　哲　氏


兵庫地区　36期　西尾　祐一　氏


和歌山地区　34期　西本　洋　氏


双美会　30期　福岡　武雄　氏


会計報告　40期　倉橋　正直　氏

講演　工学部長、大学院工学研究科長 久米 祐一郎 教授

大学の理念に基づく
工・芸連携教育研究の取組み

工学部長、大学院工学研究科長　久米　祐一郎

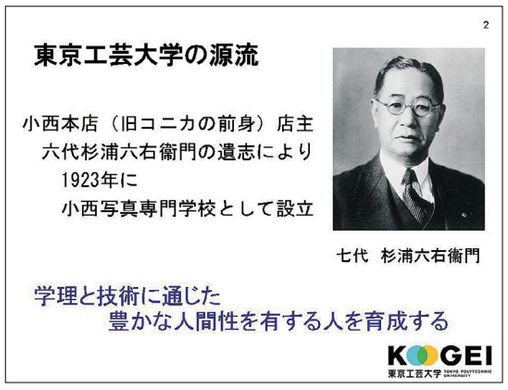


講演では久米教授に「大学の理念に基づく工・芸連携教育研究の取組み」と題しお話を頂きました。内容は、両学部の教員と学生による取組みと演習の実際をビデオ上映を交えながら講演されました。

ご紹介に預かりました、工学部の久米でございます。同窓会の皆様には日頃、色々とお世話になりまして、大学として大変高い場所から失礼と思いますが、この場をお借りしまして、お礼を申し上げたいと思います。また、本日は関西支部の総会にお招き戴きありがとうございます。前回お招き戴いたのは、もう9年も前になります。

当時は、先般お亡くなりになりました本多学長とお招き戴き、昨日の様に思い出しております。その頃は、写真はまだ銀塩で撮っていたと思います。あれよあれよと言う間にデジタルに代わってこの世の中の流れと言う物を感じます。





今日は、貴重なお時間を頂戴いたしまして少し堅いタイトルになっていますが、「大学の理念に基づく工・芸連携教育の取組み」つまり、最近大学で工学部と芸術学部の共同の取組みとして、どんな事をやっているかを紹介させて戴きます。

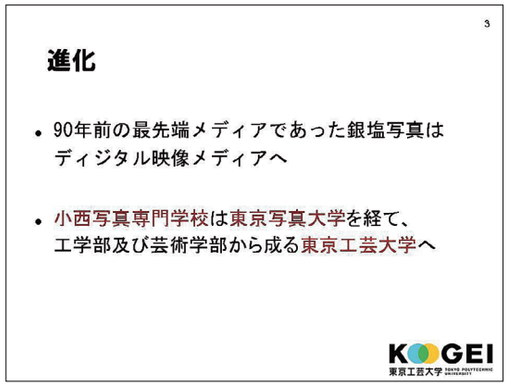
まず、いつもご覧いただいております、創立者の写真です。(写真2、七代 杉浦六右衛門) 写真専門学校の理念と言うのが写真の技術と芸術の人材育成を目指すと言う事で杉浦六右衛門さんが創設されました。

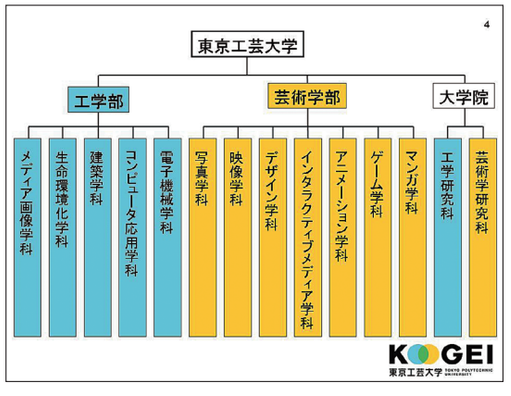
ここ最近の進化で9年前、写真というのは画像を記録する最先端メディアで、それがデジタルに代わっております。

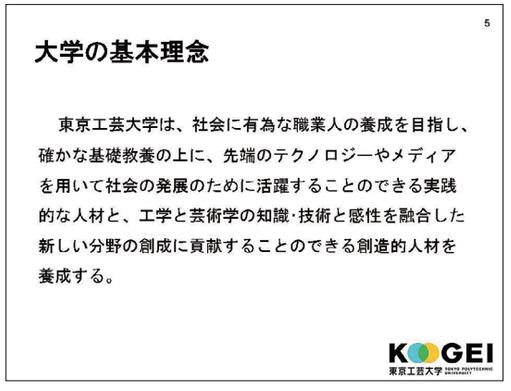
大学の方も写真大学を経て現在、工学部、芸術学部からなる東京工芸大学へと発展しております。

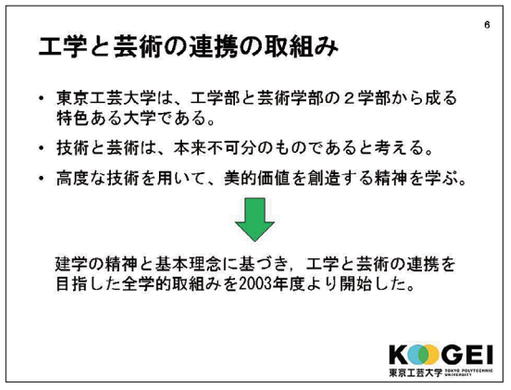
学科構成でございますが(写真4)最近、工学部も芸術学部も色々組織を変えまして昔の学科の名称が変わってしまったり、色々な組織変更の中で大学の理念の教育を展開していく為には、その学問で教えなければならない事は当然あるのですが、やはり私立大学は創立者の建学の精神に基づいて「こんな人材を育成するんだ」という強い理念が必要になって参ります。

最近、大学の案内などに使っている言葉でございますが、東京工芸大学は、社会に









有能な職業人の養成を目指し、確かな基礎教養の上に先端のテクノロジーを用いて社会の発展のために活躍する事のできる実践的な人材と工学と芸術学の知識と技術と感性を融合した新しい部門の創世に貢献できる創造的人材を養成する。非常に大きく考えている訳でございます。

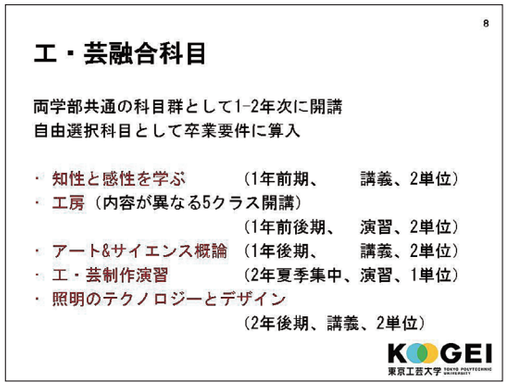
工学と芸術の連携の取組みというのをここ最近、学長を中心にして進めております。その背景としては、東京工芸大学は工学部と芸術学部の2部からなる特色ある大学であるという事があり、技術と芸術は本来、不可変のものであると考えます。

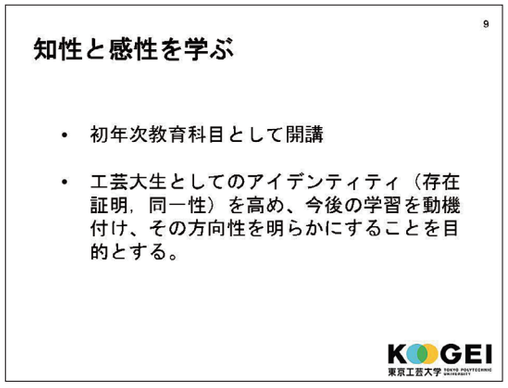
高度な技術を用いて美的価値を創造する精神を学ぶという事で建学の精神と基本理念に基づいて、工学と芸術の連携を目指した全学的取組みを2003年度より開始しております。

今日は、どんな取組みをしているのかと紹介したいと思います。どんな形で進んできたかと申しますとまず、2003年に教員の先生方による工芸共同研究の助成を開始しました。

2006年になってきますと、学生による工芸共同研究助成として資金援助をして両学部で進めるプロジェクトに対して資金援助を始め、2007年から正規の科目として工芸融合科目を開講しております。あくまで









	講義内容	担当
1	あなたの中に蠢(うごめ)く何か	学長
2	写真の発達と表現の変化	芸・写真学科
3	進化し続けるメディア、印刷が支える私達の暮らし	工・メディア画像学科
4	環境と美しさに貢献する見えない脇役たち	工・生命環境化学科
5	映画とは何だろう？	芸・映像学科
6	デザインのできること、デザインのすべきこと。	芸・デザイン学科
7	建物内の目に見えない"環境"を可視化する	工・建築学科
8	高校数学の関数で音楽を演奏する	工・コンピュータ応用学科
9	現代メディアとアートの間	芸・インタラクティブメディア学科
10	"動きを表現する"ということ	芸・アニメーション学科
11	多様な技術をつなぐ半導体	工・電子機械学科
12	ビデオゲームの進化論	工・ゲーム学科
13	プロデュースというお仕事	工・マンガ学科
14	予備	

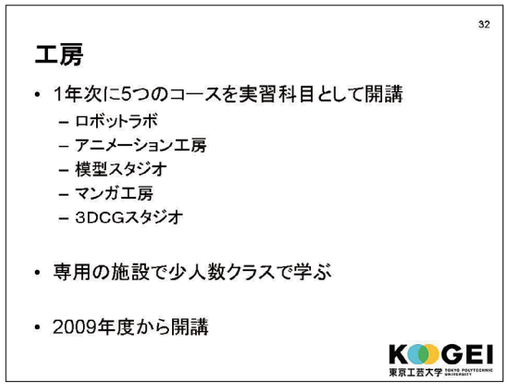


も、共通の課目として授業を1～2年次に開講しております。

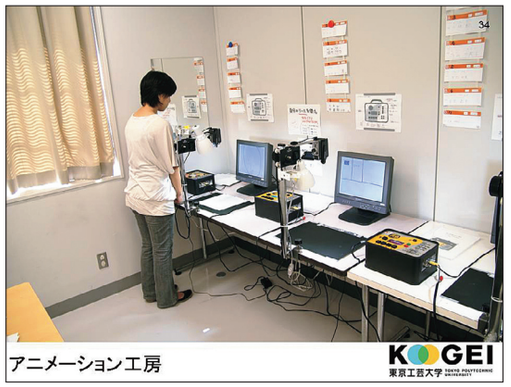
東京工芸大学の学生としてのアイデンティティ、言ってみれば学習の動機付けやその方向性を明らかにする事を目的とする。内容は、まず工芸大がどんな大学かという事を学生に理解してもらいます。そして、大学全体の考え方を理解してもらい、大学として伝統を築いて発展していく、そして社会に学生を送り出す時に大事になるのは、何を身につけたかと・・・そういう事が専門知識に加えて大事になると考えています。その為に個人課目を開講しています。

各学科は、工芸大の一つの部署としてどの様な教育研究をしているかと、やさしく新入生に紹介する。これも大学の全体像と大学の生い立ち、大学としての教育内容を理解してもらうのが大きな主旨でございます。

全国の大学でも行われているのですが、教授のアンケート調査を紹介します。







1　技術と芸術の協力で製品ができる事を知った。他の分野について知り、役立てる部分は自分の分野で役立てたい。

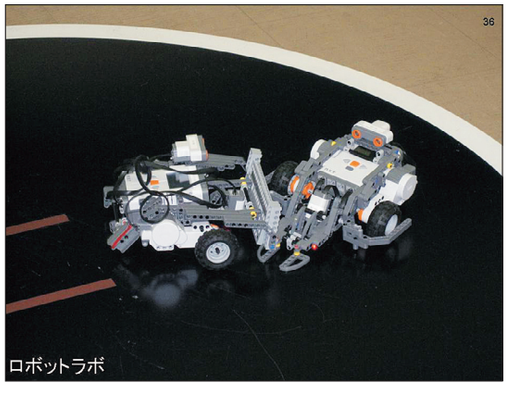
2　自分が入学した学科以外の事を知る事については、非常に前向きの解答が多かった。



次の授業の紹介をします。

工学部と芸術学部の学生をほぼ同数にして、あるプロジェクトを行う。人気があるので、抽選の時もあります。

異なる分野の学生と共にプロジェクトを成功させて、社会へ出てからも同じなのですが、コミュニケーション能力とか協調性を学んでもらうのが大きな主旨です。やはり、大学の特徴を生かして、両方のお互いの専門で何かひとつまとめて見ようと言う事でございます。



また、別の試みも行なっております。今度はインタラクティブなマンガを作ろうと言う事です。マンガ学科の先生方がかなり指導的な役割をしております。



これらの授業はまだ試みの様な段階で、１シーズンに30名程しか履修しておりません。どの様にしたらいい学生が育てられるかまた、いい作品ができるのか試験的に授



業を行っています。また、学生の感想を紹介してみたいと思います。

1　異分野の人と共同作業を行なうと、考え方の違いをよく理解できる。考えたものを実際に制作して実現する事のむずかしさを理解できた。楽しかった。時間が足りなかった。



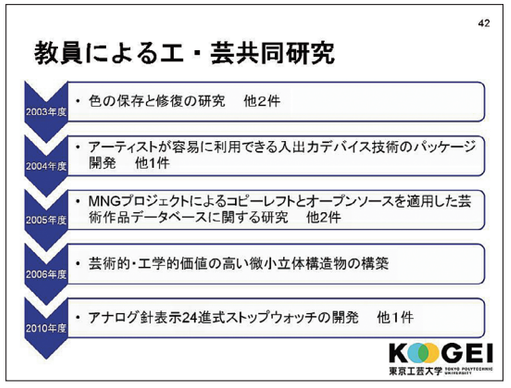
次の課目の説明です。名前は工房という名前で(写真32)スキルを学ぶ場所という事で2009年度から行なっています。場所を与えて学生達に自主な製作をしてもらう事で本学の場合、学長のリーダーシップのもとで、例えばアニメーション学科では、半年間の間、ひとつの作品を製作してアニメーションの作り方を学びます。

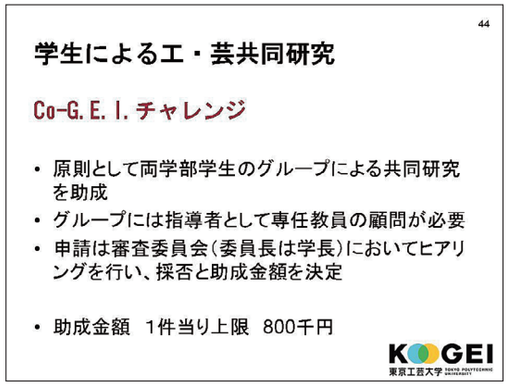


その他、ロボットラボ、まんが、模型スタジオがあります。

ロボットラボでは、ロボットの動かし方など（すもうのロボットを例して説明)、まんがでは、まんがの描き方などの説明があります。模型スタジオは建築学科で学ぶ事を芸術学部の学生がやるという事で人気があります。

工学と芸術の連携はまだ始まったばかりで2003年からです。学長のリーダーシップのもとで拡充して参ります。学生の人間力と専門的実践力を育成する事も大学の使





命でございますので社会に出て行く人材を育てる事を継続したいと思います。

最後に、非常に多くの両学部の先生たちの取組みでございます。もちろん学長のリーダーシップもございます。今日は貴重な時間を頂だい致しまして、その一部をかんたんに紹介させて頂きました。以上でございます。

ここまでは学生の授業の内容でしたが、次は教員による工房共同研究の支援についてです。学長を中心とした審査委員会がありまして、そこで採択と金額が決定されます。

学生による共同研究とは、自分とは違う他の学部の学生と協力して自発的に行なう事です。担任の先生などに付いていてもらい、助成金は年間最高80万円で2006年度からやっておりまして毎年かなりの人気があります。

電気自動車でラリーに参加するという共同研究では、FRPなどで全て自作となっております。

中略

メディアアート展参加、東京ビッグサイト、デザインフェスタ出展、ブルーウェーブあつぎ映像コンテストへの出展のお話しがありました。









さらにもっと活発な学生がおりまして、学展委員会を作り、これまで出展してきた作品を展示するため、共同研究を申請、学長もこれは良い試みと言う事で採択されました。

この写真は（写真50）、部室棟なのですが、学展委員会の学生が小綺麗にしてスペースを作っております。

おわりに、教育研究における工・芸連携の取組は、まだ始まったばかりで2003年からでございます。

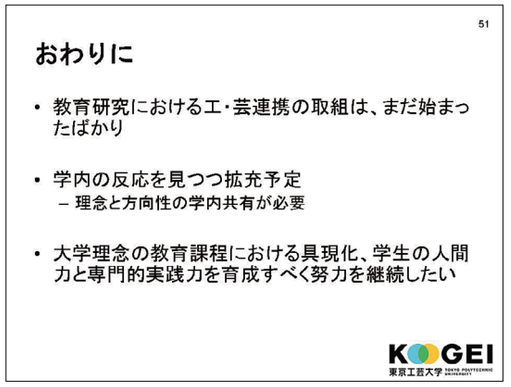
学内の反応を見つつ、特に学長のリーダーシップのもとで拡充して参りたいと思います。また、理念と方向性の学内共有が必要になります。

大学理念の教育課程における具現化、学生の人間力と専門的実践力を育成すべく努力を継続したいと思います。

ご紹介致しました取組みは、学長の他、工学部・芸術学部の多くの教員によって支えられています。













平成 23 年　懇 親 会



司会　工 -21 期　原　　浩一　氏



乾杯　24 期　山本　吉男　氏



中締　34 期　西本　洋　氏



乾杯風景





































また、来年
お会いしましょう。

平成22年度会計報告

H22.6.1～H23.5.31

収入の部		支出の部	
項目	金額	項目	金額
前年度繰越金	169,735	通信費	115,170
支部費	186,000	総会会場費	174,900
総会費	197,000	交際費	6,300
寄贈	443,000	会議費	22,000
利息	8	雑費	19,508
		90周年記念寄贈	300,000
		次年度繰越金	357,865
合計	995,743	合計	995,743

平成23年6月6日　　会　計　倉橋正直　　監　査　滝口雅之

平成23年度予算案

収入の部			支出の部		
繰越金		357,865	通信費		100,000
支部費		150,000	交際費		20,000
			会議費		40,000
			雑費		20,000

会　計　倉橋正直

議案審議

1.22年度会計報告と監査報告(上記の通り)

2.23年度活動計画の概要

(1)支部会員に23年度総会等の報告書を作成し送付する。

(2)「新年懇親会」を諸般の事情により中止する。

(3)次年度総会を平成24年6月開催の予定。

(4)定例役員会1回開催。(24年3月)

3.23年度　収支予算　(上記の通り)

平成23年・総会出席者（28名）

来　賓　　東京工芸大学工学部長、大学院工学研究科長　久米　祐一郎　教授
東京工芸大学同窓会本部　花川　正英　常務理事

〈敬称略〉

(滋賀県)　(1名)
大西　繁（47期）

(京都府)　(5名)
山本吉男（24期）山口晃正（29期）斎藤俊夫（34期）安岡賢治（39期）
北村隆夫（40期）

(大阪府)　(11名)
南　博（33期）滝口雅之（38期）山本　哲（39期）北村知二（40期）
倉橋正直（40期）駕田　毅（42期）脇田耕作（45期）内田英男（工2期）
俣野恒夫（工4期）原　浩一（工21期）三橋浩二（工27期）

(兵庫県)　(7名)
山口譲一（29期）福岡武雄（30期）松本一馬（30期）西尾祐一（36期）
野間千臣（40期）小林修一（工16期）鈴木正一郎（工25期）

(奈良県)　(1名)
安川洋平（30期）

(和歌山県)(1名)
西本　洋（34期）

物故者（平成22年6月～平成23年7月）ご冥福をお祈りします。

元学長	故 本多	健一氏	御逝去
20期	故 関	秀峰氏	御逝去
30期	故 土方	英俊氏	御逝去
36期	故 米山	壮之助氏	御逝去

東日本大震災によりお亡くなりになられた方々のご冥福をお祈り申し上げますとともに、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

滋賀地区

34期 山田善章　いつもお世話様になりありがとう御座居ます。
浄土真宗のお寺の世話役を受け今年は親鸞聖人の750回御遠忌の行事で忙しい日々を送っております。

38期 古家和幸　今回も出席出来ず申し訳ございません。皆様によろしく。

39期 松江邦男　毎度ありがとうございます。当日都合付かず出席できません。支部同窓会の益々の発展をお祈りいたします。皆様に宜しくお伝え下さるようお願いいたします。

工10期 鶴谷佳憲　海外出張の為欠席させていただきます。

芸1期 服部篤史　いつも欠席で申し訳ございません。写真学科６期卒（79期？）の中村紋子さんが、大阪淀川区の十三 Bloom Gallery にて、６月15日より写真展を開催されるそうです。内外で活躍されている若手作家です。また諸先輩方にも足をはこんでいただけると喜ぶかと思います。詳細は　中村紋子　で検索下さい。

京都地区

24期 山本吉男　双美会50年誌が会長・福岡武雄氏発案のもと、ダイコロさんのご協力を得て、第１期生、大山有恒先生からはじまり50年の歴史が克明に豪華な単行本に仕上がりました。発刊おめでとうございます。

34期 斉藤俊夫　昭和34年３月工芸大学（東京写真短大）を出て当時の日本教育テレビ（現テレビ朝日）へ入社、工芸大学には直接かかわりなく、ずい分長くなります。２、３年前当時の角原さん、栗田さんという東京の女性の友だちが同窓会のことで声をかけてくれたことがありました。久しぶりに当時のことを思い出しました。

35期 外村陽二　今回は、都合により欠席させて頂きます。盛会をお祈り申し上げます。私は相変らず、京滋の伝統行事やお祭を撮影してまわっています。又海外の世界文化遺産も撮影に出かけています。なんとか元気にやっております。

41期 井原裕三　何時もご連絡ありがとうございます。役員様に感謝申し上げます。

工3期 中村光信　只今、私は、母親を在宅介護中です。今回は、時間が取れません。欠席いたします。悪しからず。

大阪地区

30期 各務正彦　毎日元気にしております。長い治療も終り完治したと思います。（再発がない限り）今はシーズンオフの状況で渓流釣りやゴルフ、畑など楽しんでおります。

31期 上林朗男　皆様によろしく!!

33期 林　徹　いつも欠席してスミマセん。出来るだけ出席したいと思っていますが土曜日が仕事が入りますので・・・・・そして同期の牛山君、稲原君元気の内にこの会で会いましょう。

36期 米山壮之助　この度は関西支部総会の案内のおハガキ有難う御座居ました。残念ながら（夫）米山壮之助平成22年８月25日永眠いたしました。生前中はいろいろお世話になった事と思います。この機会をお借り致しまして心よりお礼申し上げます。皆様の御健勝をお祈り致します。　米山壮之助（妻）久美子

39期 塙　幸子　返信が遅くなり申し訳ありません。

40期 北村知二　大きな災害の影響で、少々気が滅入っております。本人としては元気のつもりですが、世の中的にはやはりつらい日々が続いています。皆様お気をつけてくださいます様。

40期 菱川典郎　あと少しの人生…。じっとしているのはつまらないので、年数回は友人と旅に出たり、何処かで催しがあれば顔を出したり…。大きな出来事と云えば息子が仙台で震災に会い無事帰って来れた事ですか…まだまだテレビを見る度に胸が痛みます。一日も早い復興を祈らずにはおれません。

42期 河内三喜雄　いつも御ぶさたしており申し訳ありません。現在は引退しており、孫４人にも囲まれ、悠々自適に暮しております。機会があれば、出席したいと思っております。

43期 和田潤司　64才　元気に頑張っています。

工2期 内田英男　皆様とお会い出来る事を、楽しみにしています。

工2期 沖　岩男　都合により、欠席致します。盛会を祈っています。

工3期 野志敏郎　当日は不都合になった為に今回の総会は欠席させていただきます。皆様にはよろしくお伝えください。

工4期 俣野恒雄　３月末日に定年退職しました。

総会返信ハガキ通信欄よりの「メッセージ」

兵庫地区

27期 杉本卓也　お世話の役員様方々に感謝致しております。当日不都合の為失礼致します。ご盛会をお祈りしています。

29期 山口譲一　昨年の秋に文化功労者として同期の細江英公様の顕彰を祝う会が今年の２月25日の案内がありましたので出席しました。その日には42期の駕田様と出会いました。その他では、立木義浩様と川名晴美様とも会いました。会場は京王プラザホテル。

30期 松本一馬　久し振りに皆様とお会いする事を楽しみにしております。役員各位のご尽力に感謝します。60年前に、卒業した中学の同窓会に出席し100名の集合写真を写場を借りてトヨビューで写しました。最近デジカメ、一辺到ですが、アナログの良さを、つくづく感じた次第です。鬼籍に近づいたアナログ人間より。

30期 福岡武雄　双美会50周年にあたり記念誌を刊行できましたことはダイコロ㈱様のご支援と皆さんのご協力のお陰であり有り難く感謝致しております。皆様に厚く御礼申し上げます。ところで私ごとですが、目下“陶芸と木彫”で日々楽しんでいます。秋は展示会で大忙しです。

31期 森沢嘉昭　いつも大変お世話に成っております。当日総会シーズンに付東京出張が入っています。申しわけ有りません。欠席いたします。

40期 池上壽二　いつも御世話頂き心苦しい限りです。今回も社のOB会と重なりますので欠席させて頂きます。この度の東日本大震災での東北方面支部への支援の活動などの動向が分かりましたら御連絡下さい。支部会員ならびに御出席者の御健勝を祈念致しております。

42期 林　照雄　申し訳ありません。今回も都合により出席出来ません。皆様によろしくお伝え下さい。ご盛会をお祈りしております。

工16期 小林修一　よろしくお願い致します。

奈良地区

23期 上田史郎　最近高齢の為行動の自由が利きにくく、お酒類も主治医から止められていますので残念ながら欠席させて頂きます。ご盛会をお祈り申し上げます。

33期 牛山廣己　昨日退院したばかりで体調が整いませんので欠席します。皆様に宜敷く御伝え下さい。

43期 二見むつみ　いつも、お世話になり有難うございます。

和歌山地区

工5期 水野晴夫　町から写真屋が消えていく時代に嗤われそうですが、カラーネガフィルム現像の安定化に力を入れています。加賀ハイテックからは国内トップスリーに入るとの評価を頂いています。近隣市町内約30軒の写真館写真店からの現像プリントを行っています。ネガの良さを残していきたいです。

工6期 藤本謹三　ありがとう、ありがたい！

徳島県より

29期 岩朝哲男　元気に過してますが6月は行事がつまっており、今回は欠席させていただきます。失礼ながら、我々の世代には工芸大も工学部も少々の違和感があり、申し訳ありません。近代化された学校よりも煙突のあった木造校舎が私の頭の中の母校です。末文ながら毎度の御世話に感謝致してます。

平成23年11月

会員各位

東京工芸大学同窓会
関西支部長　駕田　毅

会 費 納 入 の お 願 い

拝啓　時下ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。
皆様には、日頃支部運営に何かとご協力を賜り有難うございます。同窓会の活性充実を図るため、会員の皆様には支部活動の状況をお知らせし、一層のご理解を戴く事を念じまして、本年も23年度の会報を制作し、お届け致しました。お目通しの程よろしくお願いします。

恒例の支部総会は、会員各位の親睦・情報交換の場として、一層盛大になることを念じております。

つきましては、同窓会関西支部の23年度年会費のご協力をお願いする次第でございます。**次回の総会に初めて参加希望、参加予定の方も23年度会費のみで結構です**ので、万障繰り合わせの上ご参加頂きます様お願い申し上げます。
尚、23年度会費納入済みの方には会費請求の重複ご容赦下さい。

敬　具

記

1．東京工芸大学同窓会
　　関西支部　　23年度・年会費　　3,000円

2．会費振り込み先　　東京工芸大学同窓会・関西支部
口座番号　南郵便局[00940－4－97724]
※ 同封の郵便振替用紙をご利用下さい。
(振込料は無料です)

年々会費納入者が減っております。
このままでは支部運営に多大な影響を及ぼします。是非とも１名でも多く会費納入に御協力をお願い致します。

◇お問い合わせは会計担当・倉橋まで　Tel ０６－６７６１－６８６８

会計担当　倉橋正直

東京工芸大学同窓会関西支部　役員氏名

	役　職　名	期	氏　　名	備　　考
	顧　　問	23	上田史郎	
	顧　　問	30	福岡武雄	
	顧　　問	30	松本一馬	
1	支　部　長	42	駕田　毅	総務担当
2	副支部長	40	倉橋正直	会計担当
3	副支部長	43	香川　進	企画担当
4	副支部長	工 4	俣野恒雄	広報担当
5	副支部長	工 2	内田英男	大阪地区長
6	副支部長	39	山本　哲	総務・大阪地区４年制担当
7	副支部長	47	大西　繁	滋賀地区長
8	副支部長	39	安岡賢治	京都地区長
9	副支部長	36	西尾祐一	兵庫地区長
10	副支部長	38	本城丈夫	奈良地区長
11	副支部長	34	西本　洋	和歌山地区長
12	監　　事	38	滝口雅之	
13	監　　事	工 8	谷野　彰	
14	副地区長	30	安川洋平	奈良地区
15	広報委員	工16	小林修一	
16	同期委員	30	安川洋平	兼任
17	同期委員	31	森澤嘉昭	印刷部会　会長
18	同期委員	38	滝口雅之	兼任
19	同期委員	39	安岡賢治	兼任
20	同期委員	工 2	内田英男	兼任
21	同期委員	工16	小笠原秀樹	
22	同期委員	工25	鈴木正一郎	
23	職場委員	43	香川　進	兼任
24	職場委員	47	大西　繁	兼任
25	職場委員	工 4	俣野恒雄	兼任
26	職場委員	工 2	長谷川　淳	
27	職場委員	工 8	谷野　彰	兼任
28	職場委員	工12	伊東正邦	
29	職場委員	工27	三橋浩二	
30	婦人部長	40	大泉琇子	
31	婦人部副部長	38	村田　忍	
32	婦人部委員	43	二見むつみ	

会員の皆さんに同窓会情報をお届けしようと、会報をお送り致します。
ご意見・ご提案がございましたらご一報下さい。
なお、会員の異動や慶弔ごとなどは、お手数ですが各地区長又は事務局までご連絡下さい。

支部長兼総務担当　駕田　毅

東京工芸大学同窓会関西支部

事　務　局

〒540-6591　大阪市中央区大手前１-７-31（OMMビル11F）
ダイコロ株式会社内　秘書室
TEL06-6944-6311　　FAX06-6944-6427

各地区連絡先

滋賀地区	大西　繁 〒525-0072	草津市笠山5丁目3-66-604	TEL077-563-9208
京都地区	安岡賢治 〒610-0331	京田辺市田辺北里24	TEL0774-62-1376
大阪地区 〈工学部〉	内田英男 〒594-1111	和泉市光明台2-45-2	TEL0725-56-5726
大阪地区	山本　哲 〒557-0006	大阪市住之江区浜口西2-3-9	TEL06-6678-2426
兵庫地区	西尾祐一 〒665-0877	宝塚市中山五月台4-11-1	TEL0797-89-2248
奈良地区	本城丈夫 〒630-8348	奈良市小太郎町4	TEL0742-22-6225
和歌山地区	西本　洋 〒640-8152	和歌山市十番丁69	TEL073-422-2066

当会報作成にあたっては、ダイコロ株式会社に一層のご協力を戴きました。ダイコロ㈱には厚く御礼申し上げます。
東京工芸大学：同窓会関西支部

株式会社　美生社

39期　山本　　哲　　工・５期　山本　　忠
70期　山本素之

〒557-0024 大阪市西成区出城1－7－4
ＴＥＬ 06-6647-8555㈹
ＦＡＸ 06-6647-3176

31期　森澤嘉昭

モリサワ

株式会社モリサワ

〒556-0012 大阪市浪速区敷津東2-6-25
Tel.06-6649-2151 Fax.06-6649-2157

思い出と感動の新しいフォトエッセイ
Lifegraph（ライフグラフ）®
一冊からつくれる写真集
思い出メーカー ダイコロ
大阪本社 〒540-6591 大阪市中央区大手前1-7-31 ☎06-6944-6311



http://www.t-kougei-kansai.jp/

Printed by DAICOLO
2011.11.